

2023年度 日本工学院専門学校

建築学科

建築士資格対策

対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	90	単位	6
担当教員	森田 修司			実務 経験	有	職種	建築設計／一級建築士				

担当教員紹介

アトリエ系建築設計事務所にて公共建築、商業建築、集合住宅などの設計・監理に従事した後、独立。現在、建築設計事務所を主宰し、住宅や店舗などを中心とした設計・監理の実務を行っている。

授業概要

この科目は、学科においては建築計画・建築法規・建築構造・建築施工の4科目を大きく3～4回に分けてポイントを解説する。全体の重要な内容を理解して、本試験に向けての基礎とする。製図においては、大きく木造・RC造そしてエスキス・作図に項目を分けて、それぞれのポイントを解説、演習を行い身につけていく。

到達目標

二級建築士学科試験（建築計画、建築法規、建築構造）の過去問題が解け、自信を持って卒業後の受験ができるようになる。グループワークを通じて、問題の解き方を教えあうことで、相互に理解を深めることや、一緒になって解答を探し出す楽しさを見出す。また、製図試験対策においては簡単な演習を通して検討し解答方法を身に付ける。

授業方法

目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。

成績評価方法

試験	50%	過去問題をもとにした学科試験を4科目合計で採点し評価する
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する
製図課題	25%	簡単な製図課題を行い評価する
成果発表（口頭・実技）	5%	授業時間内に行われる発表、内容について評価する
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

この授業では、段階に進めていくことを第一としている。遅刻・欠席することなく履修すること。実習においては時間内にまとめあげることを重要課題としている。そのためにもそれぞれの項目においてしっかりと復習をして次の授業に臨むことが大切である。製図試験においては図面を完成させない限り採点されないことを肝に銘じること。

教科書教材

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	建築士受験制度の理解・基礎力確認 建築士の社会における重要性と受験制度の理解及び基礎学力の確認
第2回	施工管理を復習する（1） 二級建築施工管理技術検定の学科試験対策を通して復習する
第3回	施工管理を復習する（2） 二級建築施工管理技術検定の学科試験対策を通して復習する
第4回	法令集の使い方（1） 建築士試験において持込可能な法令集について活用方法を理解する
第5回	法令集の使い方（2） 建築士試験において持込可能な法令集について活用方法を理解し、解答の導き方を把握する

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築士資格対策	
第6回	寸法計画を把握する（１） 建築計画において把握すべき寸法計画を理解する
第7回	寸法計画を把握する（２） 建築計画において把握すべき寸法計画や面積基準を理解する
第8回	構造計算を解く（１） 反力、応力、応力度について演習を通して理解する
第9回	構造計算を解く（２） はりの断面算定を応力度を通して理解する
第10回	構造計算を解く（３） トラスの問題を解き、解説を通して理解する
第11回	学科試験のまとめ 学科試験4科目の重点項目を抜粋した問題演習、及び解説
第12回	構造計画を学ぶ（１） 木構造の構造計画について理解する
第13回	構造計画を学ぶ（２） 鉄筋コンクリート造の構造計画について理解する
第14回	構造計画を実践する（１） 木構造の伏図について理解する
第15回	構造計画を実践する（２） 木構造の伏図について作図方法を理解する
第16回	構造計画を実践する（３） 木構造の伏図についてフリーハンドで作図を実践する
第17回	断面詳細図を学ぶ（１） 断面詳細図の描き方を木構造、鉄筋コンクリート造について理解する
第18回	断面詳細図を学ぶ（２） 断面詳細図の描き方を木構造、鉄筋コンクリート造について理解する
第19回	設計課題のエスキス（１） 設計課題の問題読解、及びポイントについて学ぶ
第20回	設計課題のエスキス（２） 寸法計画を理解しながらプランニング演習を行い、解説を通して理解する
第21回	設計課題のエスキス（３） 自己のプランニングを周囲と確認し合い、時間内にプランニングを完了させる方法を学ぶ
第22回	設計課題の実習 時間内に平面図をまとめる実習を行い、完成後、他学生の図面をチェックリストに基づき採点する
第23回	製図試験 まとめ 模擬試験を実施し、チェックリストに基づき他己採点する